

事業所名:ひまり園

配布 4人
回収 4人
回収率 100%

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は、改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4		・親子登園なので狭く感じる場面もあるが、活動内容や動線を工夫している ・活動に合わせて道具の配置など工夫している	・これからも、教室での活動で狭く感じる時は、遊び方や道具の配置などを工夫するようにしていきます
	2 職員の配置数は適切であるか	4		・職員間で連携しながら、必要なところへ職員が配置できるようにしている	・職員の配置数は適切ですが、やむおえない状況もありますので、職員間の連携を密にして対応できるように努めます
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4		・教室の固定化やくつ箱のマークなど子どもたち自身にわかりやすく工夫している ・ロッカーは自分で荷物を片づけられるように高さや広さなど考えている ・概ね適切であると思う。トイレの出入口のドアが固く開閉に力がいり、子どもでは開けるのが難しいところがあるので改善していきたい ・バリアフリーではないので車いすを利用される方が来園された際は難しい所がある	・活動内容によっては教室が変わることもあるので、分かりやすさを作っていくためにも、1ヶ月は同じ活動を繰り返していきます ・子どもたちにとって、分かりやすい生活空間が作れるように、これからも工夫していきます
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4		・毎日の清掃だけでなく、窓ふきなど気づいた時にすぐに行うようにしている ・活動に必要な物は片づけたり、視界に色々な物が入り、気が散らないように配慮している ・常にキレイであるように掃除を心掛けている ・毎日安全点検で必要な所は直している	・感染症のこともあり、特に消毒は徹底して行うようにしていきます
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4		・朝礼・終礼などで業務がスムーズに行えるように職員間で共有し連携している ・定期的に指導者会議を設け、様々な視点で課題を捉え改善に向け話し合っている。また、朝礼や終礼の時間も使い全職員で周知できるよう努めている ・朝礼、終礼、学習会等職員全員で業務の振り返りをし、その中で全員が意見を出し合える環境がある	・日々の業務を振り返る中で、改善できることを全職員で考える機会を設けていきます
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4		・評価を実施している。意向などの情報共有を行い、すみやかに改善に努めている	・保護者からの評価をもとに、改善できることは早急に取り組んでいきます
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4		・ホームページでの公開を行っている。 ・公開することにより、より良い園づくりの意識も高まっている	・保護者からの評価を基に、今後の支援に繋がっていくように努力していきます ・評価結果を職員間で共有し、改善内容について検討していきます
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		4		・外部評価を受けていませんが、より良い支援ができるように、今後必要であれば考えていきます
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4		・定期的に研修に参加している ・研修に参加したり、園内でも学習会を毎月設け、学びの場がある。研修に参加した内容を伝えあっている	・研修の機会があれば積極的に参加し、園内での研修報告を実施し、職員間の共有を図っています。今後も続けていながら資質向上につなげていきます
適切な支援	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	4		・日々の中で保護者のニーズの聞き取り、子どもの課題について保護者と共有し合って計画に繋げている ・保護者とモニタリングを行いながら、話し合い作成している ・今年度からは個別の懇談も定期的におこなうようになり、子どもを取り巻く環境も把握しやすくなり、アセスメントにも生かされていると思う	・保護者からの聞き取りや個別面談、日々の状況等をもとに、より分かりやすい個別支援計画の作成ができるようにしていきます

の提供	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> 標準化されたツールの使用はないが、こどもの発達状況という視点から把握に努めている 	<ul style="list-style-type: none"> 発達の状況を把握するために、発達検査を実施し支援の明確化を図っています。アセスメントツールは使用していませんが、日々の状況を的確に把握していけるように、会議・朝礼・終礼等での共有を大切にしています 	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ガイドラインに沿って、できるだけ具体的な支援内容になるよう配慮している 支援計画の書式はその都度見直ししたり変更し、より具体的に示せるように検討している 「～ができるようになる」という目に見える成長だけでなく、内面の育ちの大切さをどう表 	<ul style="list-style-type: none"> これからも、子どもたちの状況・保護者の方々の思いをしっかりと聞きながら、具体的に分かりやすい個別支援計画を立て、丁寧に説明していきます 	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	3	<ul style="list-style-type: none"> 計画に沿って支援している。また、保護者にもその意図を日々の中で伝えている 支援計画を元に遊びや生活を考えている クラス会議でクラスの子の支援が計画に基づいているかを検討するだけではなく、日々、子どもの行動から見えてくる姿など職員全員で話し合い検討している 	<ul style="list-style-type: none"> 発達検査、子どもたちのアセスメント、保護者との懇談等を通して、児童発達支援管理責任者を中心に個別支援計画の内容について確認をしていきます。 より良い支援ができるように、また、計画だけに終わらないように、日々職員間で検討を重ねていきます 	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	<ul style="list-style-type: none"> クラス会議を月2回設け、そこで立案している クラス会議を設けて行っているが、昨年度よりもクラス数が増え話し合いの時間が足りないと感じる時もある 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが、見通しをもちながら楽しめるように、だいたい1か月間ぐらいは同じ活動のプログラムにしています。子どもたちの様子に応じて、変化を加え工夫をしていきます 活動内容やねらいなども含め、分かりやすく保護者の方々にも伝えていこうと努めます 	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> 活動は、分かりやすさを作っていくために1ヶ月は同じ活動を行っているが、子どもの様子を見ながら、臨機応変に活動内容を見直ししたり、工夫している。 子ども、保護者の様子に合わせて”楽しい”に繋がるように工夫している 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが興味を持っていることも活動に取り入れながら、楽しさに繋げていきます 子どもたちの状況に合わせて、その都度変化を加えたり工夫していけるように考えていきます 	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> 区別して表現してはいないが、内容としては個別と週案の両面が含まれていることを保護者に説明している 専門的支援も行い必要に応じて個別な取り組みも行っている クラス集団だけではなく、行事や朝の自由あそびの時は全体集団で取り組んでいる。様々な集団を保障しながら、個々の状況によっては個別でじっくりと関わることも大切にしていく 	<ul style="list-style-type: none"> 親子通園なので、集団の中での姿を保護者の方々とも確認しあい、必要な支援を考えていきます 	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> 活動の流れや役割、その日に予測されることにも共有し、打ち合わせしている 朝礼で確認したり、クラス間で活動内容や役割を打ち合わせている 打ち合わせを行っているが、話し合いの時間が足りない時もある 	<ul style="list-style-type: none"> 日々の子どもたちの様子や、状況などを綿密に報告し合い、共有していきます 子どもたちへの対応、関わり、評価などについても、定期的な会議を設定し、支援内容や取り組みについて意見を出し合い検討していきます。 	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> 終了後の打ち合わせ時間は取りにくいですが、気づいたことは職員が声を出して、できるだけタイムリーに共有している 気になったことなど共有し、次回はどのように支援していったらよいか相談している 話が出来ない場合は次の日に共有できるように努めている 毎日終礼でケース検討をし職員全員で振り返り共有しているが、午後の教室もあり時間があまり取れない時もある 	<ul style="list-style-type: none"> 毎日の終礼で、その日の支援について振り返りを行い、職員全員で共有していきます 終礼では、職員から毎日1人のケースを出し、検討したり報告し合っています。明日からの支援に繋がっていけるようにと考えています 	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	<ul style="list-style-type: none"> 毎回全員の様子など記録は欠かさず行っている 記録を取ることで次の支援や遊びの工夫につなげている 	<ul style="list-style-type: none"> 記録を取るにあたっては、個々の子どもたちの状況をクラス・全体で共有しながら記録できているかどうか、今一度確認していきます 	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> 6か月毎にモニタリングを行い、職員間で会議し見直しを行っている 	<ul style="list-style-type: none"> 個々の目標に対して、多角的な視点で話し合いをし、モニタリングを行ってから個別支援計画の見直しをしていきます 	
	関係機	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> サービス担当者会議に参加することは、ほとんどない。多数の事業所を利用している子は、計画相談なので、必要に応じて相談支援事業所と連携している 	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの状況を、担当者と会議できることは大切な時間と考えています。今後も、必要に応じて参加していきます
		22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	4	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じ積極的に行うようにしている 	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関との連携を大切にし、支援の充実に繋げていきたいと考えています 自立支援協議会の作業部会でも、情報共有しあっています

関 や 保 護 者 と の 連 携	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	4	・必要があれば行いが、親子通園の為基本的には保護者との連携が主となっている	・今後も保健師さん、医療との連携を密にしながら、必要があれば医療機関なども連携をとってまいります
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	4	”	・協力医療機関にも、その都度連携をとり緊急時に対応できるようにしていきます
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	・必要に応じて行っている	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	・保護者の意向があれば小学校と連携を行っている	・移行支援の必要性が出て来た場合は、情報共有していきます ・必要性や要請があれば、小学校とも情報共有し連携を図っていきます ・小学校との情報共有は、保護者からの依頼の中で行っていきます
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	・研修などを通して行っている ・同法人内のセンターや事業所での実地研修を行い、資質向上に努めている	・児童発達支援センターへの入園が決まった子どもたちの引き継ぎを行い、これからも支援の繋がりを作っていきます。 ・他の事業所、センターへも見学・実習等にも参加させて頂き学びを積み重ねています
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	・園としては行っていないが、併行通園の子どもは多い ・同法人内の他施設の子が遊びに来た際に、少し交流がある	・併行通園の子どもも多いので特に園からの交流はしていません。今後も行う予定はありません
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか	4	・管理者が参加し、職員へ情報共有している	・協議会の中では、地域の関係機関との連携を密にしていき、情報交流しながら誰もが住みやすい地域になるよう、課題の抽出や話し合いが行われているという報告を聞きながら学んでいます
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	・子どもの行動や状況などを共有し、意味づけや課題についても伝えるなかで共通理解につなげている ・共通理解が出来るように努めているが、子どもの内面の育ちなど目には見えない育ちについては伝え方に難しさを感じている ・子どもの変化や様子を伝えあい、日頃からコミュニケーションをとって話しやすい環境を整えられる様努めている ・おしゃべり会や懇談などで、子どもの思いや活動を通してみえてくる姿について、共通理解できるように努めている	・クラスでの活動や子どもの思いなどを、おしゃべり会で振り返ったり、クラスの保護者と一緒に考えあったりしている。これからも、保護者との信頼関係をつくり、共通理解を深めていけるように努めます
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	4	・ペアレントトレーニングに基づく支援は行っていないが、日頃の相談支援の中で、助言など支援に努めている ・卒園児の母を招いて話を聴く機会や、質問できる機会を設けている	・今後は、ペアレントトレーニングについても学びながら、保護者支援で大切にしたいことを職員間で共有していきます
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	・入園時に行っている	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	4	・説明を行って、サインを頂いている。また、説明の中で必ず「気になる所やわかりにくい所」についての有無を聞き取るようにしている ・懇談の時や個別に時間をとって説明し、同意を得ている	・保護者への説明は、一人ひとりにより丁寧に説明できるように努めます
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	・相談の時間を定期的に設けている。また、登園時にも遊びの中で話を聞くなど助言や支援をしている ・懇談の時間やおしゃべり会など定期的に相談できる場を作ったり、相談しやすいような関係を心がけている ・今年度から定期的に個人懇談を行っている	・保護者との信頼関係を大切に、これからも、いつでも相談できるような関係づくりを心がけていきます ・個別相談を実施し、必要があれば発達検査も行い、個々の発達の状況を確認しながら支援につなげていきます

保護者への説明責任等	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会はないが、月1〜3回のおしゃべり会の中で保護者同士の横の繋がりを意識しながらすすめている ・保護者会はないが、おしゃべり会では保護者同志話ができる場になっていると思う 	<ul style="list-style-type: none"> ・これからも、おしゃべり会を通して日々の悩みなどを出し合い、思いを共有しながら横の繋がりを作れるようにしていきます ・保護者会等はありませんが、今後もおしゃべり会等に、卒園児の保護者に参加して頂き、悩みを聞いてもらったり、先輩のお母さん方のお話を聞かせてもらうことにより、横のつながりも作っていかたと考えています
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回登園時に相談を受け付け、それ以外の時でも電話対応などを行いチームで対応している ・職員間や関係機関とも連携をとり、相談や申し入れに対応できるよう努めている ・緊急で相談の申込があった際には職員間で共有し連携、対応している 	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・園だよりの発行やメールでのお知らせ、電話連絡など行っている ・毎月の園だよりのホームページにて発信している。ホームページは存在を知らない方もいらっしやるので伝えていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・親子通園なので、お便り以外にも、ホワイトボードなどを利用して伝達することもあります。伝わり切れていないことがないように気を付けていきます
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の管理に努めている 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報については、十分注意を払っていますが、今後も職員全体で取り組んでいきます
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・一律の伝え方だけではなく、個々に伝えるなどできる限りわかりやすく伝えるように配慮を行っている ・やる事がわかりやすいように、書いて伝えたり写真や具体物などを用いて説明する様配慮している 	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は行っていない ・ボランティア募集などの便利を出したり、地域に開かれた事業になる様努めている 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひまりだよりを地域に配布し、地域の理解・繋がりを絶やさないようにと考えています ・昨年度は、クリスマスコンサートへの招待を行いました。他の行事も視野に入れていきます
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画の説明時にマニュアルのついてある場所等説明し、周知している。また、火災訓練、地震訓練を実施している 	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルを作成し、保護者の方々にいつでも閲覧して頂けるようにしています。 ・緊急時の対応として、考えられる訓練を想定して実施していきます ・事業継続計画を策定し、災害時に適切な対応ができるよう取り組みを強化していきます
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練(火災・地震)を定期的に行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・午後からや土曜日に通っている方々には、訓練が実施できていなかったが、今年度から計画をたてて実施できた
非常時等の対応	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・入園時に確認し、対象児がいる場合は職員間で周知している ・発作、アレルギー等職員間で情報共有を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・服薬や予防接種についても、聞き取りや書面への記入をお願いして、子どもたちの状況把握がしっかり出来るようにしていきます
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・おやつ提供時やクッキングの際は危険の無いようアレルギーの確認を必ず行っている ・親子通園の為、対応は保護者が行うことが多いが、情報共有は行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・おやつを配給しているグループでは、実物を見てもらいながら最新の注意を払いながら対応していきます ・クッキング等の活動がある時は、保護者への聞き取りを十分行います ・食後は、食べこぼしや机・床などに食べ物が残っていないかなどの確認もしっかりおこないます
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内だけでなく、法人全体でも共有している 	<ul style="list-style-type: none"> ・法人内の事例を共有することで、危険箇所等の知識や判断を豊かにし、対応できるように努めます
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・年間計画で研修の計画を立て、実施している 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修を受けた職員が、全職員に周知できるように学習会を行っています
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・もしそのような場面が生じた時には、その都度説明をしている ・保護者には、(身体拘束)ドアの施錠についてなど入園説明会時に説明し、理解を求めるようにしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの状況や場面によっては、安全確保のために鍵をかけてやむを得ず行動や場면을規制することはありますが、その事を丁寧に保護者へ説明していきます ・今後も、入園説明会で説明を丁寧に言い、理解が得られるように努めます